

○ 平成29年度第3回渋川市総合計画審議会結果概要

開催日時	平成29年10月20日（金） 13時30分から14時40分まで
開催場所 及び出席者	<p>本庁舎3階 大会議室</p> <p>○審議会委員（河藤委員、結城委員、高橋委員、狩野委員、南雲委員、桑原委員、桑島委員、川島委員、今井委員、水沢委員、入澤委員、眞下委員、大森委員、関口委員、野村委員、唐澤委員、荻野委員）</p> <p>○市長</p> <p>○策定委員会委員（副市長、教育長、総務部長、企画部長、市民部長、保健福祉部長、農政部長、商工観光部長、建設部長、水道部長、教育部長、農業委員会事務局長、議会事務局長）</p> <p>○事務局（企画課長、企画課統括主幹、企画課政策係員）</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料No.1 地区別・分野別懇談会及び市民意見公募実施結果等について ・資料No.2 新旧対照表 ・資料No.3 第2次渋川市総合計画（案） ・資料No.4 今後の予定 ・資料No.5 「第2次渋川市総合計画」について（答申）案 ・当日配布資料 IV 計画の推進 ・平成29年度第2回渋川市総合計画審議会結果概要
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ（市長、会長） 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ア 地区別・分野別懇談会及び市民意見公募実施結果等について イ 今後の予定について (2) 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 答申（案）について 4 その他 5 閉会
審議結果	<ol style="list-style-type: none"> (1) 地区別・分野別懇談会及び市民意見公募実施結果等について 地区別・分野別懇談会及び市民意見公募実施結果等を踏まえた第2次渋川市総合計画案について、了承を得た。 (2) 今後の予定について 意見等なし (3) 答申（案）について 案のとおり承認

○ 平成29年度第3回渋川市総合計画審議会での意見等

(1) 地区別・分野別懇談会及び市民意見公募実施結果等について

No.	委員からの意見等	回答等
1	<p>意見数として子育て環境の充実が一番多いというのは、市民が気にしている証拠ではないか。子育てに関しては、市長自らの意見で変えた部分が伺える。地域力をいかした子育て支援ということで、市民と協力して、地域力を目一杯いかしてという意味合いが入っているのではないかと思うが、そのニュアンスを教えてください。</p> <p>P T Aは地域と連携しており、学校により特色があるので、活用していただきたい。</p> <p>地域別・分野別懇談会で、細かい意見が多いのは、細かい意見を言う場が少ないからである。学校給食の無料化は個人的には反対であり、そのお金で暗幕の更新やピアノの調律など、学校の環境を良くしていただきたい。保護者からも私達への支援ではなく、子どもの環境を良くして欲しいという意見が多い。</p>	<p>【市】</p> <p>市は人口減少で今大変な状況である。渋川で子どもを産み育て定住して地域力を高めることが願いである。地域力が弱くなってきており、地域の教育力というものを痛切に感じている。子育てを進めて行く上で地域力を再びしっかりとしていこうという思いで、単なる子育ては渋川が良いというキャッチフレーズではなくて、戦略的に考えて記載をした。</p>
2	<p>厚生労働省からの通知もあり、現在、地域包括ケアシステムに子育てを含める形で検討している。</p>	
3	<p>「人口減少危機突破」を前面に出し、行財政運営をしっかりと書き込んだことは非常に良いと思う。実施計画をしっかりと議論し、良い渋川市になることを期待している。</p>	
4	<p>今回の修正で、大変具体的になって良かった。新たに雇用について具体的に記載しているので、今後の計画の進行は大変である。</p> <p>学校教育の充実は、人口減少対策につながる。高等教育機関を誘致すれば、若い人が育つ可能性があるのをお願いしたい。</p> <p>一般財源枠配分方式とは、どのようなものか。</p>	<p>【市】</p> <p>一般財源枠配分方式は、財政状況が厳しい中で、各部局に配分された予算の枠内で事業の見直しを行い、様々な創意工夫や努力をして予算編成をするもので、基本的には予算要求の段階で、毎年10%削減をしている。今回、市長が替わり、取捨選択をしていく中で、一旦は見直しをし、ゼロから始めることとなった。</p>

No.	委員からの意見等	回答等
4		<p>【市】 一般財源枠配分方式は、税金と国からの交付税の枠内で予算を考えると というもので、財政上、大事なことはあるが、枠に納めればということで、 事業の新陳代謝が行われにくい。枠を越えても必要なものは積極的に予算 を組み、その上で財源の制約があるので、優先順位をつけ、全庁的に見直す という意味で、ゼロベースで予算を構築するものである。</p> <hr/> <p>【市】 人口減少対策は非常に難しい課題であり、企業を誘致できれば一番良い が、簡単な話ではない。企業は、補助を出すと言っても、それだけでは来て くない。家族を連れてくるので、良い学校があるか、良い環境であるかな ども重要である。良い高校があることも大事なことであり、渋川の教育水準 を上げるために、学校に頑張ってもらいたい。市も渋川への進学を促進す るような取組を行っていききたい。</p>
5	<p>ここ数年、駅西側には高校生が勉強する場ができ、駅東側にはパース大学が入り、目で見分ける変化が感じられる。10年の計画期間で目で見分ける変化が感じられる、若い人に魅力のある市にしていきたい。計画だけでなく実施をお願いしたい。</p>	<p>【市】 総合計画などは、配って終わりということが多いが、実際にどうダイナミックに展開していくかが、一番大事である。PDCAをしっかりとやっていきたい。</p>
6	<p>3年ごとの実施計画を策定し、毎年度、進捗状況を確認して見直すことは良いことである。</p>	

(2) 今後の予定について
 意見等なし

(3) 答申（案）について
 意見等なし

(4) その他

No.	委員からの意見等	回答等
1	平成39年度に人口75,000人はとても高い目標である。今後、新しい感覚、チャレンジ精神で目標を達成できるような前向きな実施計画の策定をお願いしたい。	